

大阪音楽大学同窓会会報 幸楽会だより

2002年3月1日
大阪音楽大学
同窓会《幸楽会》
広報委員会編集

総会へのお誘い

左記の通り同窓会総会が開催されます。
総会後の懇親会では、母校の

筝の講師である会員の、片岡リサさんによるミニ・コンサートを予定しております。皆様お誘い合わせの上、是非、多数のご参加をお待ちしております。

**大阪音楽大学同窓会
《幸楽会》総会ご案内**

日 時：2002年5月12日（日）12:00～13:00
場 所：ヒルトン大阪
議 事：
1. 2001年度事業報告、会計報告、監査報告
2. 2002年度事業計画、予算案審議
3. 会則の改正について
4. その他

ミニ・コンサートと懇親会

(13:00～15:30)

会 費：5,000円 ただし新卒会員は2,500円

(不足分は本会より補填)

- * お子様ご同伴はご遠慮願います。
- * 出欠を同封ハガキにてご連絡下さい。(4月10日締切)

内を差し上げますが、よろしく
ご参集下さい。（支部長が参加で
きない場合は代理の会員のご出
席をお願い致します）

支部長会のお知らせ
○分より 支部長会を開催致し
ます。各支部長には、別途ご案

御挨拶
卒業生の背を見て育つ在学生
理事長・学長 西岡 信雄

本学は今年で創立八七周年になります。同窓会の方々の集いが「幸楽会」という正式名称の下に出発した一九六一年（昭和三六年）当時、本学の学生数は六二人（音楽学部四一九人、短期大学部一九三人）でした。それから四〇年余りが経つたいま、本学の在学生数は約四倍の二九七人（二〇〇二年二月現在）になっています。内訳は大学音楽学部一三〇一人、同短大音楽学部九〇二人、そして大学院三七人、大学専攻科二九人、短大専攻科二八人。この他、付属音楽幼稚園に二九四人、付属音楽学園には三五二人の園児、学園生がいます。これらに関わる全教職員の数は八五〇人にもなりました。

本学のこうした発展は、その

この一年を振り返つて
会長 永井 讓
長年幸楽会会員でありながら、自分が必要と思ったときだけ私の中に幸楽会の存在があった。同窓会の概念は多分こんなものだろう。しかば幸楽会会長として同窓会を健全に運営するとはどういうことだろう。それは大阪音楽大学卒業という自負を有形無形に支える組織として健全な運営を計ることである。この一年は先達の教訓から力アセントープをいただいた。一地方都市のPTAコーラスの伴奏をした時のもので、か

認をおこなった。（今年度事業報告参照）新規事業としては、はじめて会報「幸楽会だより」を発行し幸楽会の運営を示したことがある。とはいへ三万人の幸楽会員への発送には印刷・発送の費用に約三百万円かかる。従つて今後の広報誌の発送は年間一回と母校とタイアップでの臨時発行になるだろう。

私事であるが先日うれしいことがあった。母校教員時代の私のクラスの卒業生（昭五二卒）からカセットテープをいただいた。一地方都市のPTAコーラスの伴奏をした時のもので、か

ま同窓生の方々の活躍の歴史でもあると思います。在学生達はいつも卒業生の背中を見て育つといきます。いまや約三万人にもなる幸楽会員の方々の様々な活躍の姿が学生達にとつてはます。同窓会の方々の集いが何よりの「教材」です。先輩諸氏の活動を母校が支援し、母校はその活動を在学生教育の糧にする。この循環こそが何より大切なのだろうといつも考えています。

母校と卒業生のつながりを今まで以上に密接にしたい。そう願つて、一昨年の十一月、近未来に社会に巣立つていて在学生たちのために、そして、すでに卒業された方々の様々な活動を支援するため、「エクステンション・センター」を立ち上げました。これからこのセンターで現状、まだ手のついでないこの方が多いのですが、一年一年とその活動内容を広げていきます。

学内もいま、新しい時代の流れに向つて「活気のある大学」でありたいと願い、教育体制・組織運営など様々な面で点検と見直しを行つています。改革すべき事項を具体化するために、理事会も教授会も一体となって取り組んでいます。「幸楽会」の益々の発展を祈りつつ、これから母校の歩みに對しても、側面からの様々な協力をお願ひしたいと思います。

なり高度な技術を要するものを立派に演奏していた。これは幸楽会員三万分の一のケースにしか過ぎないが、これに類するものはたくさんあるはずだ。音楽の第一線での活躍度も近年随分増えたが、こうした根っ子の活躍が「幸楽会」を支えているのだと思ふ。感動とともにテープを聴いた。

幸楽会の組織をまとめる役として、第一線での活躍も根っ子的活動も等距離に置いて支援してゆくことが幸楽会の活性化につながるものと信じて会長職を果たす所存である。

幸楽会コンサート 出演者募集

下記の要領で出演者を募っております。奮ってご参加下さい。

第36回幸楽会コンサート

名 称	第36回幸楽会コンサート（ジョイント形式）
日 時	2003年2月14日（金） 18:30開演（予定）
	2003年2月17日（月） 18:30開演（予定）
会 場	大阪音楽大学 ザ・カレッジ・オペラハウス
出 演 者	幸楽会会員（但し在校生は除く） 公募によるオーディション合格者（詳細については応募要領参照） 幸楽会推薦演奏会において最優秀となり出演資格を得た者 幸楽会役員会において特別に推薦された者
入 場 料	有 料（¥2,000）
チケット負担	50枚は負担して頂きます。それ以上については出演料にかえさせていただきますので、必要枚数を事務局までお申し込み下さい。
そ の 他	伴奏者に対して3万円の謝礼を支払います。 新作については、演奏者への謝礼として上限5万円を支払います。 交通費、練習のための費用、パート譜作成などは個人負担とします。

第36回幸楽会コンサート応募要領

部 門	作曲、ピアノ、声楽、管・弦・打楽器、邦楽器の独奏、各種アンサンブル（編成は自由）
応募資格	幸楽会会員（但し在校生は除く）
審査員	応募者状況により審査員を決定します。
参 加 料	10,000円
申込方法	幸楽会事務局まで申込書を請求してください。 〒561-8555 豊中市庄内幸町1-1-8 大阪音楽大学 幸楽会事務局
申込期間	2002年9月17日（火）～9月30日（月）（郵送の場合は締め切り日必着）
審査方法	第一次審査 45分程度のプログラムと、プログラムの中から自分の技量を發揮できる、15分程度の録音カセットテープを提出してください。（テープは返却いたしません）尚、録音日時、場所などデータを付記して下さい。作曲部門については未発表の譜面を提出してください。 選考の結果は郵送により通知します。 第二次審査 日 時： 2002年11月1日（金） 午後1時（予定） 会 場： 大阪音楽大学○館（予定） 演奏曲目： 第一次審査において提出されたプログラムの中から指定します。 伴 奏 者： 応募者が各自で依頼して当日同伴すること。 尚、詳細については幸楽会事務局 Tel.06-6334-2832 までお問い合わせ下さい。

京都府中丹支部（会員八九名）

音楽教育の多様化する今日、母校の指導のもとに若い会員の持つ感性を取り入れ、幸楽会員として専門技術を生かし研鑽を積み、後進への道を開いて参りたいと願つております。今年中には何とか第一回コンサートを開けたらとの熱い思いで話し合いを進めています。
また、広報として中丹支部タイムズ（不定期発行）No.2は支部会員の音楽活動を掲載予定です。

（支部長 小田経子）

田島先生がバイブルになつてくれたり、念願の幸楽会のお仲間に入れていただけたことになりました。支部ができてまだ僅かですが、会員のみならず音楽仲間が増え、見聞も広がり、お互いのコンサート会場へ出向く回数も多くなり、ボツボツですが音楽活動への志気も高まりつつあります。

このコーナーでは毎号いくつかの支部を取り上げ、紹介を兼ねて現状や活動などをについて寄稿して頂きます。今回は、中丹支部と姫路支部にお願いしました。

支 部 は 今

第三五回幸楽会コンサート

二〇〇一年度事業、第三五回幸楽会コンサートは、二〇〇二年二月九日（土）と一五日（金）両日、母校が誇る「ザ・カレッジ・オペラハウス」にて開催いたしました。特筆すべきことは、出演者二名構成による初めてのジョイントリサイタル」と二夜開催」を掲げることができます。

幸楽会では企画事業委員会を中心とした組織で運営され、どのようすれば最も好ましいコンサートが実現するかを、応募しようとする若い会員諸氏の立場、また各種専攻や演奏形態の多様性、さらにレベルアップによる社会性などを念頭に話し合いを重ねて参りました。その結果、今回のジョイント・リサイタル形態で実施します。

二〇〇二年度も、ジョイント・リサイタル形態で実施します。ご応募をお待ちしております。

音楽人材登録について
幸楽会だより 創刊号と同様にエクステンション・セントラルからお願いしていく音楽人材登録についての中間報告をさせていただきます。（二月十四日現在）

音楽人材登録者数
人の方が複数登録しているケ
スが多数あります。その内容は次の通りです。
登録種類別
159名

エクステンション・センター 卒業生支援および在学生の学外展開をバツクアップ

音楽人材登録について
「幸楽会だより」創刊号と同様にエクステンション・セントラルからお願いしていく音楽人材登録についての中間報告をさせていただきます。（二月十四日現在）

	講師など	ジャンル別	指導
音楽	作曲・編曲	声楽	ピアノ
36名	10名	39名	7名
15名	8名	8名	78名

現在も毎日何名かの登録があります。これを受けてエクステンション・セントラルでは音楽人材紹介の開拓を行っています。このことにつきまして皆様方のご協力をよろしくお願い申し上げます。

音楽人材登録者数
管樂器
弦樂器
ハープ、ギター、等
電子オルガン
その他
218名（一
人の方が複数登録しているケ
スが多数あります。）
その内容は次の通りです。
登録種類別
159名

2001年度活動の概要

常任幹事会
各委員会の仕事の明確化
京都府中丹支部設立の承認
総会案内、事業報告など総会用資料検討
総務委員会
会則の改正案検討
総会、役員会の準備
企画事業委員会
推薦演奏会、幸楽会コンサートの検討
推薦演奏会オーディション（6/10）
第47回推薦演奏会実施（7/15）
幸楽会コンサート二次審査（11/1）
第35回幸楽会コンサート（2/9、2/15）
広報委員会
会報「幸楽会だより」創刊号発行（11/15）
同第2号発行（2002/3/1予定）
ホームページ更新（随時）
組織委員会
会員名簿のI.T化の検討
財務委員会
ペイオフへの対応策検討
予算構成の見直し



オペラハウス公演 幸楽会会員は特別入場料金で!!

オペラハウス公演について、幸楽会会員のみなさまには、通常入場料金の約半額という特別料金が設けられています。チケット購入の際に会員各位に迷惑をお掛けしません。お詫びして訂正致します。

チケットのお問い合わせは

チケットOCM
(tel.06-6334-2242)

公開講座・指導者研修会
研修とソルフェージュ指導

講座の募集要項は三月末に

エクステンション お知らせ

チケットのお問い合わせは
チケットOCM
今年度よりピアノ指導者研修が加わりました。各

できます。

幸楽会会員のみなさまには、通常入場料金の約半額

創刊号の支部一覧において路支部の電話番号が、間違っていました。正しくは、0792-22-4169です。姫路支部ならびに会員各位に迷惑をお掛けしました。お詫びして訂正致しました。

勝手ですがオーディション対象の方は二〇〇二年9月にオーディションを予定しています。演奏員に演奏をお願いする場所は本学となりますので、大変届けします。創刊号を発行したのが昨年の十一月。総会案内のための第二号です。時間的な約のため色々不備もあるうかと思ひますが、ご寛恕下さい。なお、同期会やイベントなど、記事を求めております。お知らせいただければ幸いです。また、コンクールの受賞などは、エクステンションセンターにお任せ下さい。

編集後記

大阪音楽大学同窓会《幸楽会》
〒561-8555 豊中市庄内幸町1-1-8
☎ 06-6334-2832 FAX 06-6336-9834
e-mail kougaku@osk3.3web.ne.jp
http://www3.osk3.3web.ne.jp/~kougaku/
(リンクしていますので大学のHPからもアクセスできます)
大学URL http://www.daion.ac.jp/